

(6) 展開

◎学校課題との関連【焦点化】【視覚化】【共有化】

★人権教育上の配慮

学習活動	時間 (分)	指導上の留意点 【UD化の手立て】	準備物
<p>1 学習問題を把握する。 ・教科書の問題を読み、課題解決の見通しを立てる。</p> <p>①紙の重さを調べる。 ②紙の高さを調べる。 ③比例していることに着目して調べる。</p> <p>2 めあてを提示する。</p>	<p>8</p> <p>2</p>	<p>◎書画カメラ、タブレット、紙の束を使い、教科書の問題の意味を確認させる。【視覚化】</p> <p>◎問題文から、既習事項の比例の考え方を想起させ、何に着目すればいいかを話し合わせ、課題解決のための見通しを持たせる。【焦点化】</p> <p>・本時のめあてを把握させる。</p>	<p>タブレット 書画カメラ 紙の束</p>
<p>画用紙がたくさんあります。全部で何枚あるかを調べる方法を考え、説明しましょう。</p>			
<p>3 枚数を数えずに、全部で何枚あるかを調べる問題の求め方を考える。</p> <p>①自力解決をする。</p>	<p>20</p>	<p>◎重さの視点から比例関係を考えさせる。【焦点化】</p> <p>・ノートには、表や式を使い、一目で分かるように書かせる。</p> <p>★自分で考えた方法を、表や式を用いてより分かりやすく説明する仕方を考えさせる。</p> <p>・書けた児童から、黒板に答えを書き、説明させる。</p> <p>★どんな考え方があるか気付いたことを発表させ、考え方や表現方法の多様性に触れさせる。</p> <p>◎児童がそれぞれの考え方の類似点や相違点を意識して考えられるようにする。【共有化】</p> <p>◎比例の関係を用いると、紙の枚数を数えずに、他の数量を基にして求められることを捉えさせる。【共有化】</p>	<p>考え方の表示 掲示用の表</p>
<p>予想される児童の反応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表を横に見て、何倍になるか調べよう。 ・表を縦に見て、決まった数を見付けて調べよう。 ・着目する量を変えて、調べて見よう。 			
<p>②隣同士で検討する。</p> <p>③全体で発表する。</p>			
<p>評価規準 【思考・判断・表現】</p> <p>画用紙の重さ、高さとの枚数の比例関係を捉え、問題の解決の仕方を表や式を用いて多面的に考えることができたか。 (観察、発言、ノート)</p>			
<p>4 学習を振り返る。</p> <p>①高さに着目して、問題を解く。 ②本時の振り返りを書く。</p> <p>5 次時の予告をする。</p>	<p>13</p> <p>2</p>	<p>・枚数を考えるのに比例の関係を使って解決できることなど、問題の解決に用いた考え方や表現のよさをまとめる。</p> <p>・比例の関係に着目すると、日常の問題を能率よく解決できるよさに触れさせる。</p>	<p>タブレット</p>